

事例紹介

若手職人等の自立・創業就業支援事業

委託事業概要

京都の伝統産業において若手求職者や若手職人を一定期間雇用し、京都伝統産業の特徴やビジネス上必要な知識の習得を行う研修を実施するとともに、一定期間企業において実地研修し、就職又は自立創業に繋げる。

委託先

京都試作センター株式会社
従業員数16人

新たな雇用創出数
(計画・目標数)

新規雇用者数2人

委託事業費

740万円(平成26年度)

委託事業実施期間

平成26年4月～
平成27年3月

委託業務内容

企業が採用時に求める社会人基礎力養成研修に加え、京都の伝統産業の特徴やビジネス上必要な知識の習得を行う研修を概ね1～2箇月実施(座学・グループワーク)。

より実践的な研修や技術の習得を図るため、一定期間伝統産業系企業において実地研修(OJT)を実施。

受託事業者

京都試作センター株式会社 のコメント

伝統産業の職人を目指したいという若者は多くいるが、就業する場所が少なく、また、企業側も雇用するまでの体力がないのが大半であるという状況の中、少しでも両者の思いを叶えられるよう橋渡し役として貢献できる事業である。

若手職人は座学研修や企業研修を通じ、今後の伝統産業業界の担い手として大きく飛躍してほしいという思いとともに、自らが表に出て業界を引っ張っていける存在になっていただきたいという思いで取組んでいる。

企業側にとっても、若手後継者を育成できるメリットがあり、人事的にもミスマッチを減らすことができる良い事業である。



講義を受けている風景

主な人材育成メニュー

伝統産業企業での就業前に京都ジョブパーク主催の「京都ものづくり産業人材育成塾」と合同で研修を実施し、ビジネスマナーをはじめ、社会人としての基礎固めを行い、スムーズな就業開始を支援する。
「コミュニケーション力」「自発性」の強化などにも取り組んでいる。

OJT期間中は、研修先企業側が計画した実践的な実習を行い、終業後も見据えた中長期的なキャリア形成につなげている。
また、受託業者である京都試作センター(株)が定期的なフォローアップを行い、目標を共有しながら進捗を管理し、就業に結び付けていると同時に、伝統産業界の喫緊の課題である後継者不足の改善にも寄与している。



座学研修時の講義風景



友禅染の配色・ぼかし技法を師匠に教わっている風景

事業終了後の雇用継続への展開

伝統産業界への就職を希望する若手職人を京都試作センター(株)が直接雇用することにより、伝統産業企業の新規採用コスト及びリスクをなくすとともに、若手職人と企業の双方にしっかりとヒアリングを実施し、確実なマッチングにつなげることにより、企業のスムーズな受け入れをサポートし、将来の後継者となることを見据えた雇用の継続につなげていく。